

同和問題講演会

『極道の妻たち』や『バブルと寝た女たち』などの著者・家田^{しょうこ}莊子さんを講師に招いて講演会を開催します。

家田さんは、これまで光の当たっていなかった世界や人々にスポットを当て、常に弱者の立場に立って描き社会問題を提起し続ける作家です。

なお、入場無料で、手話通訳と要約筆記を行います。

- 【とき】 8月24日(日) 午後1時30分～(開場:午後1時)
- 【ところ】 青山ホール
- 【講師】 家田 莊子さん
- 【演題】 『一緒に生きて行きましょう～あなたの愛を求めています～』
- 【問い合わせ】 青山支所人権同和課 ☎52-3232



いがまち人権センター 「広島・長崎原爆」人権パネル展

- 【とき】 8月8日(金)～21日(木) 午前9時～午後5時 (土・日曜日は除く)
- 【ところ】 いがまち人権センター ホール
- 【展示内容】

1945年8月6日広島に、9日長崎に原子爆弾が落とされました。その被害は膨大なものであり、多くの命が奪われました。「戦争は、最大の人権侵害」、まさにそのとおりです。

この被害は、「被爆」という形で今なお続いており、「被爆者」の命を奪っています。二度とこの地球に原爆という武器を使用させてはなりません。そのためにも、戦争の被害を忘れてはなりません。

「反差別・反戦争」をみんなで確認しましょう。

- 【問い合わせ】 いがまち人権センター ☎45-4482

島ヶ原人権地区懇談会から

人権問題に関する意識は教育や啓発の成果として徐々に高まっているように思いますが、一方では「人権問題は遠いところにある誰かの問題」という捉え方があることや、知識として理解していても行動に結びついていないという現実があります。

島ヶ原では、一人ひとりが人権問題を日常生活に重ね合わせ、「誰もが自分らしく、互いに支えあつて生きる地域」を作るために、どのように取り組んでいけばよいかを考える場として、昨年全8地区において人権懇談会が実施され、私もひとつの会場に参加しました。

さまざまな世代の参加者が4～5人のグループに分かれ、最初に自己紹介や人権クイズなどを通して話し合いやすい雰囲気を作ったあと、男女共同参画、部落差別やいじめなどの人権課題について話し合いを行いました。

男女共同参画の話し合いでは、高齢の男性が「私も皿は洗うよ」との発言や、若いお父さんからは「出来る者がやれば良い」との意見が出され、私が予想していた以上にいわゆる男女の固定的な役割分担といった意識が薄れているように思いました。

明日 に向けて

～差別をなくしていくために～

いじめ問題については、「いじめられる側にも責任があるのではないか」とする意見が出されましたが、「何かウザイから」「キモイから」という理由で不満やストレスのはけ口として「いじめ」ているのではないかと議論がありました。いじめられる側にも責任があるというのは、いじめを正当化しているのではないかという意見です。なるほどいじめは人の心を傷つける「暴力」で、いかなる理由があろうとも暴力の正当化は許されるものではありません。

参加者全員に発言してもらおうとグループ分けしての話し合いは、これまで講演会方式に慣れた参加者には自分の意見を述べることに戸惑いもあるようでしたが、活発な意見が交わされました。「進行がまずい」「参加者がもっと増えて欲しい」などの苦言もありましたが、「人権をテーマに皆の意見が聞けて良かった」「来年も実施して欲しい」など総じて好評な感想が多かったと思われまます。

人権問題の解決には私達人ひとりの学習の積み重ねがいかに大切か、あらためて感じられた懇談会でした。

(島ヶ原支所住民課)

■このコラムは毎回いろいろなテーマで人権についてお話しています。ご意見などは本庁人権政策課 ☎22-9631 jinken@city.iga.lg.jp へ